

柏崎刈羽原子力発電所における被ばく低減及び 廃棄物低減プログラムの導入について

村上 義英

柏崎刈羽原子力発電所、東京電力ホールディングス

Email: murakami.yoshi@tepcoco.jp

柏崎刈羽原子力発電所では、これまでも被ばく低減及び放射性固体廃棄物低減に取り組んできている。具体的には、計画値と実績値をグラフにして推移を把握し、個別作業毎に低減対策を立案、実施、評価してきた。しかしながら、その活動は、発電所の放射線防護部門が中心となって実施しており、保守管理部門が十分に関与した ALARA 活動にはなっていなかった。

そこで、被ばく低減プログラム及び廃棄物低減プログラムを策定し、それを実行することで、一体となった ALARA 活動を開始することとした。

本活動では、ALARA レビューボード (ARB) という会議体を設けることとしたが、これは、発電所トップである発電所長を議長とするもので、所長を中心とした ALARA 活動を強力に推進していくこととなる。

プログラムは、年度計画値の策定、計画値と実績値の差異分析・評価、保守管理部門と放射線防護部門による現場レビュー等から構成されており、今後とも被ばく低減、廃棄物低減を発電所全体の活動として実施していくこととする。